

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり18.83人の報告があり、増加が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が36件報告されています。手洗い、咳エチケット、換気、適度な湿度の保持などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第43週 A型:137人、B型:1人

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.06人の報告があり、減少が続いています。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。

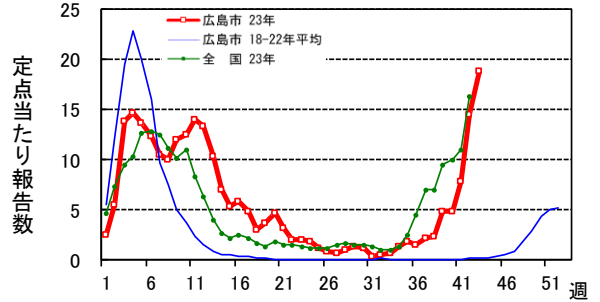
3 咽頭結膜熱

定点当たり1.91人の報告があり、前週の約1.8倍に増加しました。咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、5～7日の潜伏期間の後、発熱、喉の痛み、結膜炎などの症状が出現します。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

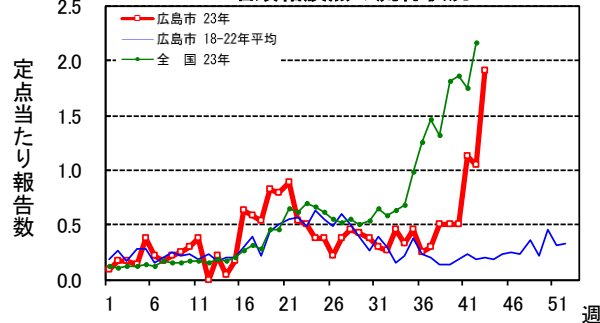
4 つつが虫病

今年初めて1件報告されました。(次ページ参照)

インフルエンザの流行状況



咽頭結膜熱の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	678	18.83	0.19	↗	小児科	ヘルパンギーナ	9	0.39	0.62	↘
	新型コロナ(COVID-19)	74	2.06		↘		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.10	
小児科	RSウイルス感染症	-	-	0.43		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
	咽頭結膜熱	44	1.91	0.20	↗		流行性角結膜炎	13	1.63	0.45	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.22	1.03	↘	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	62	2.70	3.19	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	-	-	0.22			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	手足口病	37	1.61	1.26	↘		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	4	0.17	0.32							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

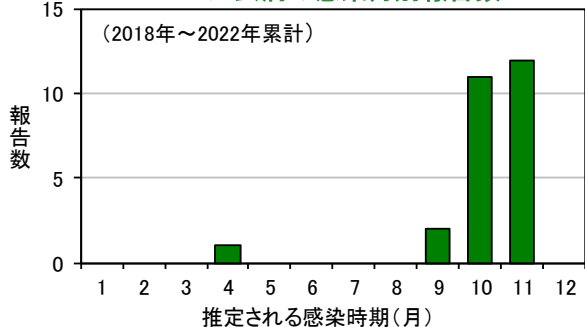
類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	103	20歳代
4	つつが虫病	1	1	70歳代
5	梅毒	5	241	20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・2人、50歳代・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス(COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
																						報告数
報告数	広島市	第39週	175	269	4	12	49	51	1	78	-	4	42	-	-	5	-	-	-	-	-	-
	第40週	174	158	4	12	53	52	1	82	-	4	40	1	-	9	-	-	-	-	-	-	
	第41週	282	144	2	27	51	53	4	41	-	6	10	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
	第42週	510	93	-	24	63	41	1	39	1	5	16	-	-	11	-	-	1	-	-	-	
	第43週	678	74	-	44	51	62	-	37	1	4	9	1	-	13	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第39週	4.86	7.47	0.17	0.50	2.04	2.13	0.04	3.25	-	0.17	1.75	-	-	0.63	-	-	-	-	-	-
	第40週	4.83	4.39	0.17	0.50	2.21	2.17	0.04	3.42	-	0.17	1.67	0.04	-	1.13	-	-	-	-	-	-	
	第41週	7.83	4.00	0.08	1.13	2.13	2.21	0.17	1.71	-	0.25	0.42	-	-	0.38	-	0.14	-	-	-	-	
	第42週	14.57	2.66	-	1.04	2.74	1.78	0.04	1.70	0.04	0.22	0.70	-	-	1.38	-	-	-	-	-	-	
	第43週	18.83	2.06	-	1.91	2.22	2.70	-	1.61	0.04	0.17	0.39	0.04	-	1.63	-	-	-	-	-	-	
全国	第41週	11.07	3.76	0.12	1.75	1.88	2.62	0.08	1.20	0.01	0.22	0.30	0.04	0.01	0.83	0.01	0.05	0.05	-	-	-	
	第42週	16.41	3.25	0.10	2.16	2.67	3.06	0.10	1.03	0.01	0.25	0.24	0.04	0.01	0.88	0.03	0.04	0.08	-	-	-	

【参考】つつが虫病に注意しましょう！

つつが虫病の感染月別報告数※



※ 届出44件のうち、感染時期の記載があった26件について集計

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシ(ダニの一種)の幼虫(0.2～0.3mm)に吸着されることで感染します。

潜伏期間は5～14日です。典型的な症例では39℃以上の高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的なツツガムシの刺し口がみられ、数日後に体幹部を中心に発疹が見られるようになります。

広島市では、例年、10～11月に感染したと推定される報告が多くなっており、注意が必要です。

感染を予防するためには、ツツガムシに咬まれないようにすることが重要です。

【感染を予防するために】

- ◆ 山や草むらに入るときは、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴などを着用し、肌の露出を少なくしましょう。
- ◆ 肌の露出部分や服に虫除け剤(ツツガムシの忌避を効果としているもの)を使用することも有効です。
- ◆ 帰宅後は、すぐに入浴し身体をよく洗いましょう。また、脱いだ衣服はすぐに洗濯しましょう。

【参考】ダニ媒介感染症(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>



新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30～18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp